※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３１７ |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 書Ⅰ　（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１）書道Ⅰの授業を発展させ、書道Ⅱでは用具用材の違い、表現の違い等をより深く学んでもらいます

２）新たな書体を学び体験し、筆の弾力を生かした自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します
３）篆刻をすることで最も古い書体を学び、作品を仕上げることで、達成感や書を愛好する心情を育んでもらいます

## ２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。【知識】<br>・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。【技能】 | ・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 | ・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 篆書・篆刻の学習 | ・篆書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。<br>・個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。<br>・印の歴史や役割、用法などを理解する。<br>・ | a：篆書を構成する要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解している。（知）<br>ｂ：篆書の表現形式に応じた全体の構成、意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している（思）<br>ｃ：古典の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取組み、書に対する感性を豊かにしている。（主）<br>a:篆刻の表現を構成する要素、古典の特徴と用刀・運刀の関りを理解している。（知）<br>b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。（思）<br>c：古典の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。（主） | 提出作品 | レポート<br>提出作品 | ポイントカード<br>観察 |
| 2学期 | 隷書の学習 | ・隷書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。<br>・個性的で多様な隷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。<br>・古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。 | a：隷書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関りを理解している。（知）<br>b：表現形式に応じた全体の構成、意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。（思）<br>ｃ：古典の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。（主） | 提出作品 | レポート<br>提出作品 | ポイントカード<br>観察 |
| | 漢字の書の制作 | ・創作の手順に従い、古典の特徴や技法を生かして創作し、相互評価をする。 | a：漢字の書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関りを理解している（知）<br>b：表現形式に応じた全体の構成、意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している（思）<br>c：特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。（主） | 提出作品 | レポート<br>提出作品 | ポイントカード<br>観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 漢字仮名交じりの書の学習 | ・漢字と仮名を調和させたり構成を工夫したりした表現を理化する。<br>・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫し、表現に変化をつけた際にもたされる効果について理解する。<br>・創作手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。 | a：漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素、現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関りを理解している（知）<br>b：漢字仮名交じりの書の目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、意図に応じた個性的な表現、現代に生きる個性的な表現について構想し工夫している。（思）<br>c：漢字仮名交じりの書の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。（主） | 提出作品 | レポート<br>提出作品 | ポイントカード<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度